

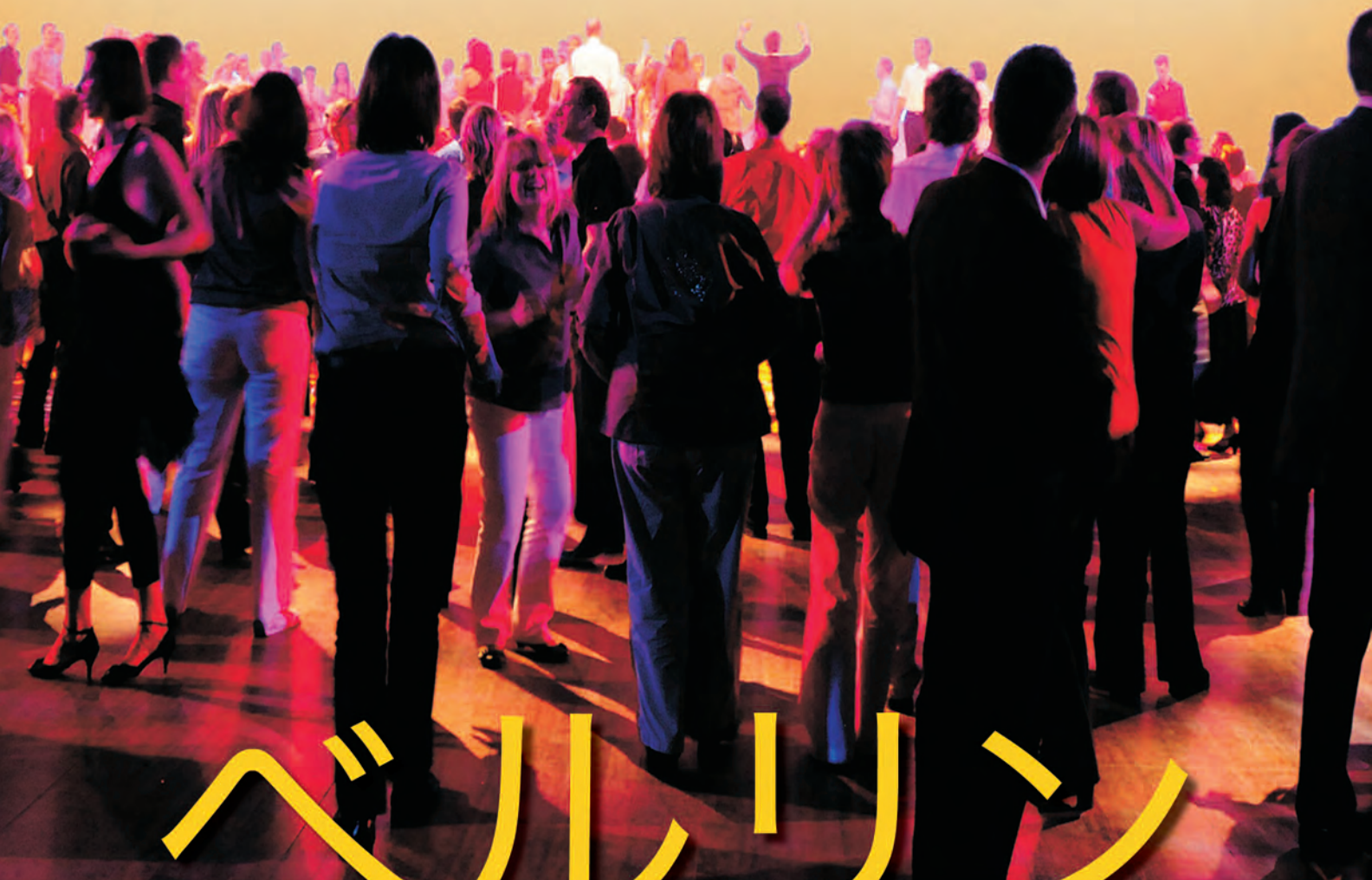
in

FOCUS



2009年7月

The 'Spirit of Life PlusTM'



ベールリン

展 望 夢 友 情

私たちの名前はエステル&ゲルハルト・フィッシャーです。黒い森の北、バート・リーベンツェルに近い、標高600mの所にある小さな田舎町、ウンターレンゲンハルトに住んでいます。古くからオーガニック農業が盛んで、周囲にはたくさんの保養地があります。

二人の娘は私たちに多大な喜びを与えてくれました。ハンナは高校卒業試験に合格したばかりで、看護師を目指して勉強中です。23才のサロメは、チュービンゲン大学の歯学部に通っています。

私たちは二人とも一般医で、開業して20年余りになります。代替医療や治療に役立つ様々な手法には常々関心があり、環境医学と自然療法の分野でも早期に資格を取得しました。私たちはこれまでに学んできたことを活かして診療を行っています。

栄養補助食品にも何年も前から注目し、多くの患者さんに健康的な食事とビタミンやミネラル、微量元素のサプリメントを組み合わせさせた食事方法を指導してきました。分子矯正医学に魅力を感じているのもごく自然なことだと思います。

これまでにたくさんのメーカーの多種多様な製品を使ってきましたが、心から納得いくものはなかなか見つかりませんでした。そしてやっと出会えたのがライフプラスです。

FROM *Dreams to*
Reality



ついに私たちは、これだ、と確信できる製品を手にすることができたのです。

ライフプラスのことは、今から1年ほど前に、患者さんが教えてくれました。当時、彼女はライフプラスの製品を使い始めて数ヶ月くらいだったと思います。とにかく前向きで、情熱的な印象を受けたのを覚えています。私たちは好奇心から詳しい話を聞いてみることにしました。自分たちで成分を確認したり、会社のバックグラウンドを調べたりもしました。それからほどなく、家族で使えるトータルケア・パッケージを注文しました。

ライフプラスの理念は私たちの考えととてもよく似ています。患者さんにはゆっくりと時間をかけて栄養素の働きと重要性について説明しており、たいいては肯定的な反応が返ってきます。私たちがお勧めした製品についても、ほとんどの患者さんが満足し、体に必要な栄養素の大切さを理解して使っていただいています。

ライフプラスと出会ってもうすぐ1年になりますが、公私ともども、その優れた製品はなくてはならない存在になっています。

リファーマル・マーケティングについては、そのような流通モデルがあること自体知りませんでしたし、これまでに関わったこともなかったもので、初めのうちは懐疑的でした。ライフプラスと会社のシステムが誠意に基づいた長続きのするものであることが分かるまで、時間をかけていろいろな話をしました。そして、創設者の皆さんやドワイト・マッキー博士に会い、博士の研究や、世界中の人々の健康に貢献しようとするビジョンに共感を得て、これなら大丈夫だと思えるようになったのです。

今では私たちもライフプラスのパートナーとして活動することに、熱意と喜び、信念を実感しています。ライフプラスがもたらすものは、健康と副収入だけではありません。心ある友人のネットワークを広げ、協力し合える同志を得ることができたのも、ライフプラスのおかげです。

私たちの事例をきっかけのひとつとして、独立への一歩をあゆみ始めていただければ幸いです。より健康に、より良く生きたいと願う気持ちと、ちょっとした勇気があれば、ライフプラスを通じてチャンスを活かすことができるはずです。

ESTHER
&
GERHARD
FISCHER

The 'Spirit of Life Plus™'

ベルリン

2009年4月18日、世界中のライフプラスのパートナーたちが家族や友達を連れて、ドイツのベルリンに集まりました。目的はもちろん、ライフプラスのすばらしいイベント、スピリット・オブ・ライフプラスです。エストレル・コンベンション・センターを目指した数千人もの人々は皆、未来の世界をより幸せでより健康なものにしたいという、社のビジョンにかける情熱を共有していました。

今年のベルリンのイベントでは、これまで以上に多くの人々が新たなピンレベルを達成して表彰されました。金曜の夜に開かれた表彰者歓迎会と、土曜日の表彰式は特別な熱気に満たされていて、その様子を直に見ることができたのは本当にすばらしい体験でした。

土曜日の表彰式は、ボブ・レモンとティム・ノーランの呼びかけから始まりました。彼らはスピーチのあと、ビリーバーとビルダーを舞台に招きました。喜び勇んだビリーバーとビルダーで壇上は

ページ4へ



The 'Spirit of Life Plus'™ ベルリン

ページ3から

たちまちいっぱいになりました。新しいビリーバーとビルダーの皆さん、おめでとうございます！

午後の部では、ライフプラス・ヨーロッパの代表マルコム・ヴィンセントが新たにブロンズおよびシルバーを達成した方々をステージに招きました。ブロンズとシルバーの達成者はひとりひとり一歩前に出て紹介され、拍手喝采を浴びました。ブロンズの代表としてケルスティン・リサクさん、ラルフ・モルハルトさんが、シルバーの代表としてエーベルハルト・ヘルツォーク・フォン・ヴェッテンベルクさんとマリオン・ケルナーさんがスピーチをしました。皆さんの多大なる努力と献身が実ったことに、祝福申し上げます。次に、リック・セザルスキーがライフプラスで経験してきたことや、新たにゴールドを獲得してライフプラス・ユニバーシティに参加した皆さんとともに過ごしたことについて語りました。そして、ブリギッテさん・ジークフリート・フィエリングさんの2人が2008年のLPUのすばらしい体験についてスピーチをしました。続いて、マルコムがゴールドの皆さんをステージに呼び、共同創設者のひとりであるティム・ノーランが新たにゴールドとなった全ての人にピンを手渡しました。新たにゴールドを達成した皆様（敬称略—Bettina & Gerhard Bizer, Alfred Krüger, Ute Müller, Anita Haag, Barbara Fenske, Andrea Full, Heike Merk, Thomas Nick, Hans Freuler & Margret Zimmermann, Claudia Schulz & Stefan Lauterbach, Rene & Jessika Hille, Silke Petras, Mathilde Blum-Lindmayer）、おめでとうございます！

ここで少し休憩を挟み、2008年のLPUオリンピックの様子がビデオで紹介されました。また、6スター・ダイヤモンドのリッシー・シュット=ノトデュルフトさんとヴェルナー・ノトデュルフトさんが会場の全員に向かって、ライフプラスを知ったきっかけと、ライフプラスを通じて出会った人々への熱い思いを語りました。さらに、良好な関係を築くコツや、自分を信じるためのヒントについても話しました。続いて、2009に初めてのダイヤモンド・クルーズに乗船したヘレンさんとブルーノ・チュッペルトさんが、マイアミに着いた時の感動から、船上や寄港地でのすばらしい体験まで、輝かしい日々のお話を話しました。2009年のダイヤモンド・クルーズ参加を果たしたチュッペルトさん、おめでとうございます！



The 'Spirit of Life Plus'™ ベルリン

次に、マルコム・ヴィンセントが再びステージに戻り、ダイヤモンドとスター・ダイヤモンドをひとりずつ招きました。ダイヤモンドが勢揃いしたところで、マルコムは新たにダイヤモンドおよびスター・ダイヤモンドを達成した人を招きました。それらのダイヤモンド全員が壇上に加わった時の、ほとぼしるようなエネルギーは、会場にいたすべての人が感じたはずです。ライフプラスの創設者たちも同じステージに立ち、ピンの贈呈が行われました。新ダイヤモンドの皆さん（敬称略—Michaela Döntgen, Andy & Sonja Steiner, Hans Christen, Ulrike Görgens, Ulrike Martin, Petra Dominke & Hans Herbertz and Alexander & Marina Reiche）、新1スター・ダイヤモンドの皆さん（敬称略—Mirjam Kraushaar, Kerstin Wassmann：新ダイヤモンドと同時達成, Judith & Clemens Sandmeier）、おめでとうございます。そして、新2スター・ダイヤモンドのソニヤ・エルトルさん、9スター・ダイヤモンドのガビ・シュタイナーさん、おめでとうございます。皆様の並ならぬ努力と献身、意志の強さは私たちの誇りです。この日、ステージに立ったすべての方の成功と決意、リーダーシップをここに讃えます。おめでとうございます！

もちろん、お楽しみはこれで終わりではありませんでした。大ホールでの1日を終えた参加者は、特典やサービスの品が入った参加賞の袋を受け取って一旦解散しましたが、夜の部が始まると、またにぎやかなひと時が訪れました。おいしいディナーを堪能し、ダンスフロアにくり出して、音楽にのって皆で踊りました。ブルース・ブラザーズやシェール、マドンナ、エルビスといったスターをテーマにしたコンサートも実に見事でした。夜がふけるまでダンスパーティーは続き、盛大な「スピリット・オブ・ライフプラス」ベルリン大会は幕を閉じました。

次回の「スピリット・オブ・ライフプラス」は、2009年10月17日にドイツのカールスルーエで開催されます。素晴らしいこのイベントを見逃さないよう、チケット発売に関するニュースにご注意下さい。2009年のベルリンのイベントの様子や、カールスルーエについてのお知らせは、www.LifePlusEvents.comにも掲載されています。



新たなピンレベルを達成する上で、最も重要なツールとなったのは何でしたか？



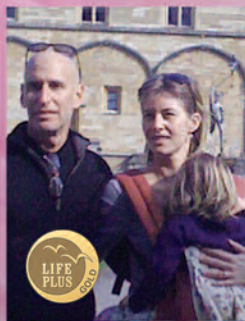
Ulrike and Peter Görgens—ダイヤモンド

ダイヤモンドを達成できたのは、何よりもチームの仲間のおかげです。チームのひとりひとりに心から感謝しています。期日までに次のレベルを達成するにはどうすればよいか、皆で話し合い、決断したことはとても重要でした。私たちは定期的にミーティングを開き、その度にダイヤモンドになる決意を新たにし、その実現を具体的にイメージしてきました。そうやって目標に集中してきたこと、そしてダウンラインやサイドラインにいるたくさんの仲間たちが支えてくれたこと、その意味は大きいと思っています。予言者郷里に容れられず、ということわざがありますが、私たちは優秀な人材を遠ざける必要なんてないと考えています。ギッタ・ハルステンバッハさんのサイドラインと協力しあったこともプラスになりました。新しいプランに即した私たちなりのやりかたで、目標を達成することができたのです。



Alexander and Marina Reiche—ダイヤモンド

最近できた新しい友人やパートナーの多くは、日常をよりよいものに変えたいと願っています。彼らの願いとは、心身ともに健康でいること、そして経済的に自立したいということです。私たちはこれまでやってきたように、ライフプラスの製品について案内し、他の人にもお勧めするよう提案しています。私たちはいつも、ギブ&テイクで相手とはお互いさまだと考えるようにしています。今ではアル gau 地方全域に仲間がいます。助け合いながら倫理的に仕事をするのはとても楽しいものです。新旧合せて全てのパートナーの皆さんに感謝しています。



Carolyn Hauser and Daniel Scholnik—ゴールド

私たちの回答はやや抽象的かも知れませんが、次のレベルに到達するうえで役に立ったのは、創造性だったと思います。初めて会う人にどのようにアプローチし、どうやって関係を構築するか。チームの仲間たちとどのように話を進めて、新製品のプロモーションとボリュームの拡大につなげるか。創造性はあらゆる面で重要でした。



Uta Sönnichsen-Ahrens and Jörg Ahrens—ゴールド

私たちは常に次の目標を明確にし、コラージュを使って意識をそこに集中させています。同時に、成功のほうから寄ってくるように無理強いはいできないことも理解しています。ですから、私たちは肩の力を抜いて、成功するにはまず自ら行動すること、というモットーを唱えながら、成功に歩み寄るようにしています。また、自分たちが調和のとれた好ましい状態であるときは、あらゆることが難なく進み、望ましいタイプの人々との関わりが増えることにも気付いています。会うべくして出会った人たちとは、すぐに楽しく話せるようになります。あとは流れに任せておけば然るべき方向へと進んでいきます。



Petra Buchner-Schnabel—シルバー

シルバーを達成できたのは、疲れを感じる間もないほどの努力と献身を重ね、そして時には勇気を振り絞ったからだと思います。それから、あらゆる側面でチームの仲間の効果的で親身な協力があつたことも重要です。仲間たちの支えはいつも私を勇気づけてくれますし、アイデアの源にもなっています。それはこれからも変わることはないでしょう。私はその全てに心から感謝しています。



Agnieszka Cwiertnia—ブロンズ

一番やる気のもとになったのは、チームで目標を共有していたことです。私のチームは特別な原動力とパートナーシップに支えられています。私たちのレシピは、ささいなことでも、常に一緒に助け合いながらやることです。私たちはパートナーであるだけでなく、友人であり、助け合うことに喜びを、ともに課題を乗り越えて成長して行くことに楽しさを感じています。もちろん、ダウンラインでなくても、関心のある方は誰でも歓迎しています。そもそもライフプラスと出会った時に印象に残ったのは、その寛大さだったのです。私は自ら熱意をもって活動に取り組み、チームの仲間の意欲を引き出し、アイデアを開示して成功につなげました。ひとりひとりが粘り強く努力を続けること、それがみんなで成功を掴む唯一の方法なのです。



Heidi and Christian von Arx—ブロンズ

鍵は、熱意をもって取り組むこと、そしてライフプラスが全ての人にもたらしてくれる可能性を信じることです。新しいパートナーと友情を培いながら、本当に大切なものが見えてくる過程をともにすることは、すばらしい喜びであり、私たちにとってますます重要なことになっています。新しいパートナーからは様々な質問を受けたり、不安に思うことについて相談されたりしますが、私たちは真摯に受け止めて丁寧に応じています。彼らを励まし、サポートし、あきらめずに寄り添っている限りは、チームとして進んでいけるはずです。

2010年はぜひ、ダイヤモンド・クルーズへ

2010年2月21日～28日

2010年のダイヤモンド・クルーズの日程が2月21日～28日に決定しました。参加資格を取得したダイヤモンドの皆様を、NCLジュエル号で行く西カリブ海7日間の旅にご招待します。異国情緒あふれるロアタン島、ベリーズシティ、コスタ・マヤそしてグレート・スティアラップ・ケイを巡るクルーズがあなたを待っています。

スクーバダイビングの世界では最も有名なロケーションのひとつ、ロアタン島は、地球上で第2の規模を誇るサンゴ礁に囲まれています。海中は色とりどりの魚たちとサンゴ、海洋植物でにぎわっています。観光地としてはあまり知名度は高くありませんが、だからこそロアタン島ではありのままの島の自然とホンジュラスの文化に触れることができますでしょう。静かで美しいビーチでのんびり日光浴をしたり、海水浴やシュノーケルを楽しんだりして過ごして下さい。

ロアタン島のあと、ダイヤモンドの皆様を乗せた船はベリーズへと向かいます。ここにはグレート・ブルーホールと呼ばれる見事な海中の穴があり、その大きさは直径300m強、深さ125mと世界でも有数です。ぜひスクーバダイビングやシュノーケルで探索してみてください。陸上でのアクティビティがお好きな方には、古代マヤ文明の遺跡巡りがお勧めです。発掘された場所へ観光に行ったり、ジャングルをかきわけて進むアドベンチャーに出かけたりして楽しみましょう。ベリーズの熱帯雨林では、色鮮やかな鳥や珍しい動植物を見ることができます。

次にダイヤモンドの皆様を迎えるのは、メキシコのコスタ・マヤの沿岸域です。手付かずの豊かな自然に覆われたこの地域は、歴史的・文化的な見所も多く、マヤ文明の栄えた時代を偲ぶことができます。コスタ・マヤに降り立つと、ヤシの並木とさらさらの砂浜、日陰で休みたい時にぴったりの草のバラソルが目に入ります。ダイヤモンドの皆様のためのアドベンチャーや日帰りツアーもたくさん用意されています。

ジュエル号最後の寄港地は、ノルウェー・ラインが所有する無人のプライベート・アイランド、グレート・スティアラップ・ケイです。真っ白い砂浜と穏やかな波に囲まれた、熱帯の楽園でのひと時を満喫していただけます。グレート・スティアラップ・ケイは、海鳥やトカゲ、蛍光色の熱帯魚など、野生動物の宝庫でもあります。海辺のハンモックやヤシの木陰で寛いだり、温かい海でシュノーケルをしたり、カヤックやヨットで島を一周したり、それぞれに楽しい一日を過ごしたあと、締めくくりにビーチでバーベキュー&ダンスパーティーをします。

ノルウェー・ラインが誇る豪華客船、ジュエル号には、プールやスパ、カジノ、バー、レストラン、ナイトクラブなど、何でも揃っています。ダイヤモンドにふさわしい充実した船旅を楽しみながら、ライブプラスの創設者やマネージャーたちと交流し、ダイヤモンドのトップメンバーとのミーティングで有益な情報を交換して、貴重な時間を共有しましょう。

さっそく今日から準備を始めて、すばらしい西カリブ海クルーズへの参加資格を獲得しましょう。生涯の思い出となるクルーズであなたをお迎えできる日を、スタッフ一同心から待ち望んでいます。



2010年ダイヤモンド・クルーズの参加資格は以下の通りです:

初めてのダイヤモンド: 2009年の12か月間に計3か月以上ダイヤモンドレベルを達成した場合

従来のダイヤモンド: 2009年の12か月間に計9か月以上ダイヤモンドレベルを達成した場合



カールスルーエ

The 'Spirit of Life Plus™'

09



次回のスピリット・オブ・ライフプラスは2009年10月17日です。早速カレンダーに印をつけておきましょう。新旧の友と集い、祝い、啓発しあう、素晴らしい一日が待っています。ライフプラスのスタッフと同様、皆様も心待ちにしていच्छることでしょう。ドイツのカールスルーエで、ライフプラスの創設者たちに会い、トップクラスのダイヤモンドの人たちから心に響く話を聞けば、新たな意欲が湧いてくるはず。メインイベントだけでなく、土曜日の夜にはエンターテイメント満載のバンケットディナーもお楽しみ下さい。

カールスルーエのイベントは毎年チケットが売り切れになるほどの人気です。今年も見逃すことのないよう、早めに予約しておきましょう。それでは、10月17日に「スピリット・オブ・ライフプラス」でお会いしましょう。

O	C	T	O	B	E	R
S	M	T	W	T	F	S
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

ライフプラスのイベントに関する詳細については、www.lifeplusevents.com をご参照ください。



Life Plus International
P.O. Box 3749
Batesville, AR 72503

Life Plus Europe, Ltd.
Life Plus House, Eaton Socon
Cambs. PE19 8JH
England

Visit our Web site @ www.lifeplus.com

US International Ph: 1(870)-698-2311
US International Fax: 1(870)-698-2379
US Toll Free: 1-800-572-8446
US Toll Free Fax: 1-800-959-2777

UK International Ph: +44 (0) 1480-224-600
UK Free Phone: 0800-854374 (UK only)
UK International Fax: +44 (0) 1480-224-601
UK e-mail Orders: sales@lifeplus-europe.com

JPN Order Free Ph: 005-3123-0026
JPN Customer Ser. Free Ph: 005-3123-0005
JPN Local Call Fax: Tokyo 03-4496-5312
Osaka 06-6537-1492

Free Ph - Hawaiian JPN: 1-877-576-7347
Free Fax - Hawaiian JPN: 1-866-672-4291

Free Numbers

Germany: 0800 101 3201
Switzerland: 0800 000 122
Austria: 0800 111 977
Finland: 0800 117 505
Sweden: 0200 887 555
Norway: 80 01 48 88
Spain: 800 099 211
France: 0805 111 400
Italy: 800 906 511
Poland: 00 8001211984
Hungary: 0680014911
Netherlands: 08000 203639
Belgium: 080048265
Turkey: 0800 261 7001

